

冬期 高校生1日医師体験

@出雲市民病院



12月24日（木）、県主催の「冬季高校生医療現場体験セミナー」を出雲市民病院で開催し、5名の高校生を受け入れました。毎年行っていますが、今回から内容を少し変更し、自分のなりたい将来の医師像を考えてもらえるような企画にしました。

午前は、松本賢治先生から聴診器のあて方や患者さんとのコミュニケーションのとり方をレクチャーしてもらい、その後2グループに分かれて、大曲診療所の外来患者さんや市民病院の透析患者さんに聴診器を用いながら、お話をしてもらいました。

午後は、昼食をとりながらの家庭医療レクチャーや在宅での看取りの症例を提示して、患者さんの気持ちや医師として患者さんにどう関われるか等のディスカッションをしました。参加者からは「患者さんとお話は緊張したけど、最後に“ありがとう”と言われて嬉しく、良い経験ができた」「ディスカッションを通して、患者さんにもその家族にもそれぞれの思いがあって、それらを理解し尊重しながら一緒に治療方法を考えていくことが大切だと思った」などの感想をいただきました。

今回のセミナーを通して、自分が将来どのような医師になりたいのかを考えるきっかけとなれば嬉しいです。また、島根県の医療を担う医師を目指す高校生が増えることを願っています。

